

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報システム基礎論1		
英文授業科目名	Foundations of Information Systems 1		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム基盤学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報システム基盤学専攻		
担当教官名	渡辺 俊典		
居室	IS-831		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【講義の狙い，目標】

情報システムを含む多様なシステムを統一的に把握する能力の修得を目指す。特に，システムの表現と特性解析とを重視する。情報システム設計開発に興味のある学生や，システムの意味を深く考えてみたいと思っている 学生に受講をすすめる。

【内容】

情報システムは，計算機、ネットワーク，社会経済，生命，など広範に及ぶ。情報システムの設計や改良に従事するには，情報システムのみならず，それを一部を含む多様なシステムの全貌を把握したり評価する能力を磨かなければならない。本講義の目的はその第一歩を提供することである。これらのシステムが相互作用する分散モジュールのネットワークシステムとして表現できる点に着目し，その直感的な図式表現法，得られる図式を用いたシステムの意味や特性の分析，改良案の検討などについて学習する。

【教科書，参考書】

特に利用しない。講師作成のレジメを用いる。

【予備知識】

線形代数学，論理学，組み合わせ理論，確率論など。ただし必須条件とはしない。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【演習】

受講者それぞれが自ら考えて楽しめることが大事であると考えている。これを実現するために、種々の領域から選んだシステムの表現や解析に関する問題を教員が提示し、受講者は各自の解答をOHPやスライドで紹介し、意見交換の後、教員の解答を参考までに提示する、というゼミに近い進め方を採用する。受講者グループ化、講義内での解答まとめ時間の確保などにより、講義参加のみで諸技術を習得できるように配慮している。

【成績評価方法及び評価基準】

(1) 講義への出席状況、(2) レポートについての発表実績、(3) および最後に各自提出の演習課題へのレポートの内容、によって評価する。

【その他】

講義はOHPやスライドを用いておこなう。写しを配布して受講者が講義や演習に集中できるように配慮する。講義の最終日に受講者からのアンケートを取っている。それによると、多様なシステムを統一的視点で把握するという試みを、演習を多用して受講者の主体的関与をうながす方法ですすめてゆくという本講義の方法は、歓迎されているように思われる。

例えば、「世の中のいろんなことがらを共通視点から把握する能力が高まった」「毎回ゲーム感覚で楽しく取り組めた講義であった」などの感想が寄せられている。